

# 平成25年度 事業報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

## 【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、平成25年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする山間地の森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、地区推進協議会及び市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開し、以下の事業を実施した。

## 【会議等】

### 1 理事会

(1) 平成25年5月16日(木) 県庁新行政棟特別会議室Aにおいて開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 議 題

第1号議案 運営協議会員の選任について

第2号議案 理事の改選について

第3号議案 平成24年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算及び財産目録について

第4号議案 平成25年度評議員会招集及び提出議案について

第5号議案 平成24年度事業報告に係る定期書類について

第6号議案 公益財団法人さが緑の基金助成事業実施規程の一部改正について

#### 報告事項

① 役員の職務の執行状況について

② 税額控除に係る証明書について

③ 財団法人佐賀県緑化流通センターの機能継承に伴う変更認定について

(2) 平成26年2月14日(金) 佐賀県庁正庁において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

#### 議 題

第1号議案 平成25年度収支補正予算について

第2号議案 平成26年度事業計画及び平成26年度収支予算について

## 報告事項

- ① 役員の職務執行状況について
- ② 財団法人佐賀県緑化流通センターからの寄附金について

## その他

- ・ 理事の改選時期について

## 2 評議員会

平成25年6月7日（金）、自治会館中会議室Bにおいて開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

### 決議事項

第1号議案 平成24年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について

第2号議案 理事の改選について

### 報告事項

- ① 平成24年度事業報告について
- ② 平成25年度事業計画及び収支予算について

### その他

- ① 税額控除に係る証明書について
- ② 財団法人佐賀県緑化流通センターの機能継承に伴う変更認定について

## 3 緑の募金運営協議会

(1) 平成25年7月18日（木）県庁新行政棟入札室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

### 報告事項

- ① 運営協議会委員の変更について
- ② 平成24年度緑の募金事業報告及び収支決算について

### 審査案件

- ・ 平成25年度緑の募金助成事業及び提案公募型緑づくり活動支援事業について

(2) 平成26年3月12日（水）県庁新行政棟特別会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

### 議 事

第1号議案 平成25年度緑の募金事業収支補正予算について

第2号議案 平成26年度緑の募金事業計画及び収支予算について

第3号議案 運営協議会委員の改選について

## 【 公益事業 1（一般事業） 】

一般事業では、基本財産の運用収入、（公社）国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金（緑化普及積立資産）等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

### 1 緑の普及啓発事業 [決算額 9,715 千円]

#### （1）普及啓発 [決算額 8,380 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、（公社）国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページで公表し意識の高揚に努めた。また、優秀作品は国土緑化運動の審査会に推薦した。
- ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
- ④ 県内の小・中学校からの要請を受け、学校や脊振山などの現地で森林環境教育を行った。
- ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。
- ⑥ 森の名手・名人100人の推薦、認定書の伝達  
（公社）国土緑化推進機構が行う「もりの国・日本運動」の「森の名手・名人(加工部門)」として「廣松利彦(佐賀市)」及び「浦川義男(武雄市)」を推薦し選定され認定書の伝達を行った。

#### ○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第63回全国植樹祭	平成25年5月27日	鳥取県西伯郡南部町 (とっとり花回廊)
九州北部三県みんなの 森林づくり	平成25年11月10日	福岡県八女市 (グリーンピア八女)
第37回全国育樹祭	平成25年11月17日	埼玉県熊谷市 (彩の国くまがやドーム)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 253 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にすることを育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校164校のうち希望する小学校77校にヤマザクラやコブシなど15種111本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ及び緑化祭 [決算額 1,082 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、前年度に引き続き、木材や木工工作などとのふれあいや森林づくりの体験活動を通じて、県産木材の良さやその利用の意義についての理解の推進や、かけがえのない財産である森林・緑を県民みんなの財産として社会全体で守り育て、未来に引き継ぐという意識の醸成を図ることを目的に、佐賀県との共催により「どん<sup>3</sup>の森・アバンセ」を会場に「よかウッドフェスタ及び緑化祭」を開催した。

主な開催行事として、

- ・ 緑化功労者（団体、個人）や優良緑の少年団の表彰及び森の名手・名人認定証の伝達
- ・ 緑の少年団107名によるプロジェクトD（東日本大地震被災地の緑化促進のために、東北地方のどんぐりから苗木を育て被災地に送る事業）や緑の少年団活動発表大会
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートや木の実工作やふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催しや住宅相談会

などを行い、約2千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 3,503 千円]

企業やCSO等から企画提案された特色ある森林づくり（地域に密着した様々な夢のある森林づくり等）や平坦地の緑化事業、県産材の利用促進事業など企画提案された10事業を採択支援した。

- ・ 里山や平坦地に広葉樹等を植栽し、潤いのある景観づくりなどを目指す伊万里市浦川内地区ほか3市4地区の住民等の取組
- ・ 過疎離島「向島」に島民と一般参加者でセンダンを植樹し、将来的に薬品等として利用することで、島の活性化につなげるNPO法人の取組
- ・ 県産間伐材を利用した木製椅子を作成し、公共施設に設置することにより、県民に安らぎと潤いを与える取組
- ・ 九州間伐紙（木になる紙）を利用した紙ヒコーキ大会を通じて間伐等の森林整備や地球温暖化防止を楽しみながら学ぶ取組

- ・ 子供たちが森や森の生き物を楽しく学ぶための学習会を開催するとともに、「学習の森」隣接地に広葉樹等を植栽し、大人から子供までが楽しく学べるエリアを拡大する取組
- ・ 黒髪山環境保全町民サポーターを募集し清掃美化活動を行い、地域の森林環境整備を高めるとともに、木材の地産地消活動の一環として、植菌講習会を実施する取組み

など魅力ある地域作りに取り組む10団体に助成することにより緑化の推進を図った。

### 3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 858 千円]

#### (1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 610 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町の北山東部小学校において「緑の少年団探検学習会」及び「緑の少年団活動発表大会」を開催した。

#### ○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時：平成25年8月8日（木）

会 場：佐賀市立北山東部小学校

参加者：緑の少年団、指導者、縣市、事務局 計283名

行 事：活動発表大会（地区代表5団体）最優秀賞1団体、  
優 秀 賞1団体

講 話：「佐賀の自然の話」

その他：佐賀の自然クイズ大会やバンブー風鈴づくり

#### (2) ふるさと記念の森管理事業 [決算額 248 千円]

21世紀県民の森に県にゆかりのある人々や一般県民が植樹した「ふるさと記念の森」の記念樹の枯れ木等の調査を行い、伐採、補植をして維持育成を図るとともに木製ベンチを設置して県民の利用促進を図った。

### 4 緑化活動に対する助言・指導事業 [決算額 40 千円]

国土緑化推進機構の委託事業によりNPO活動コーディネーター研修などの募集や実施に際しての指導等を行った。

## 【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。募金目標額は前年度と同額の63,000,000円としたところであるが、この目標額は達成することが出来なかった

- 募金実績額：61,311,163円（約1,700千円2.7%の減）
- 運動期間 春：平成25年3月1日～ 5月31日  
秋：平成25年9月1日～10月31日

### 1 緑の少年団等育成事業 [決算額 4,239千円]

#### (1) 活動・交流支援 [決算額 3,939千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団47団体に対し、日常の活動費への助成を行なった。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

##### ① 佐賀中部・鳥栖地区

期 日：3月15日

実施場所：佐賀市富士町 ふれあいの森及び森林学習館

参加者：73名

行事内容：カブト虫やクワガタなどが生息出来る森林づくりのため、クヌギやブナなど6種類450本の広葉樹の植樹活動、大声大会や木の実の工作を通じ森の豊かさを学習

##### ② 武雄・鹿島地区

期 日：9月28日

実施場所：鹿島市 七浦海浜スポーツ公園体育館

参加者：151名

行事内容：有明海の生き物や森と海のつながりの話し、干潟の生き物観察、貝殻や木の実の工作を通じ森林と海のつながりを学習

##### ③ 唐津・伊万里地区

期 日：3月8日

実施場所：有田町 竜門峡キャンプ場周辺

参加者：56名

行事内容：森と水の話し、竜門峡探検スタンプラリー、木の実の工作などを通じ森林と緑の大切さを学習

#### (2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 300千円]

県内の緑の少年団の育成及び交流事業や8月に開催した少年団指導者の研修事業等に要する運営活動経費を助成し県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 450 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 415 千円]

① 近年、活動が活発になってきた「森林づくりボランティア」は、県内25団体が登録しており、このうち申請のあった5団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：1月25日

場 所：福岡県豊前市「森の学校」

参加者：親林交流指導員及びボランティアリーダー28名

テーマ：「障害者雇用、地球環境・地域課題への挑戦」の講義及び木材を活用した仕事場づくり、障害者雇用、木質ペレット生産等の視察研修

講 師：NPO法人森の学校 理事長 舟橋真一郎氏

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 35 千円]

森林をはじめ、自然環境についての学習ニーズが高まっていることから学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、公民館等に対し基金に登録している親林交流指導員延べ20名を派遣し緑化の普及を図った。

対 象：小学校、公民館など 16ヶ所

対象者：小学生・保護者など 延べ836名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 10,463 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 8,396 千円]

① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくりを行った6協議会11団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下刈り、間伐）を行い地域の環境整備を行った5協議会12団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。

② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体(119団体)のうち申請のあった8市38団体に対し、資材購入費等を助成することにより緑化の促進を図った。〈1団体20千円以内〉

(2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 1,867 千円]

地区内の市道沿いを中心にイロハモミジ、ヤマザクラなど81本を住民やボランティアで植栽し、地区内の景観向上を図る富士町苜木自治会及び地区内の運動公園内に陽光桜23本を植栽し、地域住民の連携及び地域の活性化を図る七山白木地区に助成することにより緑化の促進を図った。

(3) 国際緑化 [決算額 200 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会がミャンマーパーコック地区で地元の協力者とともにインドセンダンなど5種2千本を植樹し、緑化の促進を図るとともに環境問題への普及啓発を行った事業に助成することにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 31,998 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布や、ポスター、チラシ等普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内18市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 6,137 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告、ラジオによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等の職場募金等の募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 3,503 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付金を交付した。

交付金=定額割額(500千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×5%)

※平成24年度より3%から5%に変更(2%は東日本大震災復興事業分)